いなべ市議会だより

INABE

第51号

平成28年11月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会

9月定例議会

平成２７年度決算を認定 ―――― P 2
監査委員の意見 ―――― P 4
13人が一般質問 ―――― P11
産業建設常任委員会視察研修 ―――― P25
市民の声 ―――― P26
クイズ当選者 ―――― P27
訪問レポート ―――― P28

西藤原小学校運動会
「関連記事が裏表紙にあります」

平成27年度決算

市税収入

平成28年第3回定例会は9月1日から9月21日までの

歳　入
231億1,986万円

市　税
（市民税や固定資産税など皆さんが納めたお金）
85億6,683万円
（37.1％）

市　債
（学校を建て替えるなど、たくさんお金がいる場合などに借金をしたお金）
31億1,686万円
（13.5％）

その他収入
21億7,420万円
（9.4％）

繰越金
（平成27年度で使わなかった分を平成28年度に繰り越したお金）
20億7,802万円
（9.0％）

各種交付金
（消費税など国税の一部を自治体に交付されたお金）
12億1,990万円
（5.3％）

県支出金
（県からの補助金）
9億5,357万円
（4.1％）

分担金及び負担金
（利益を受ける一部の方が納めたお金）
2億9,402万円
（1.3％）

国庫支出金
（国からの補助金）
18億7,696万円
（8.1％）

地方交付税
（自治体の財政力の格差を解消するために国から交付されたお金）
28億3,950万円
（12.3％）

一般会計及び特別会計の決算状況

区　分		歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額 C（A－B）	翌年度繰越財源 D	実質収支 E（C－D）
一　般　会　計		231億1,986万円	228億1,208万円	3億778万円	1億6,759万円	1億4,019万円
特別会計	国民健康保険	55億4,479万円	52億6,374万円	2億8,105万円		2億8,105万円
	後期高齢者医療	8億8,014万円	8億7,648万円	366万円		366万円
	介護保険	34億8,213万円	33億6,688万円	1億1,525万円		1億1,525万円
	農業集落排水事業	2億9,828万円	2億7,314万円	2,514万円		2,514万円
	下水道事業	16億1,162万円	15億4,759万円	6,403万円		6,403万円
	小　計	118億1,697万円	113億2,783万円	4億8,914万円		4億8,914万円
合　計		349億3,682万円	341億3,990万円	7億9,692万円	1億6,759万円	6億2,933万円

注）1万円未満四捨五入のため合計は一致しません。

13億円減

市内企業の設備投資が増え
課税収入が減ったため

21日間の会期で行われ、平成27年度決算を認定しました。

歳　出
228億1,208万円

議会費
（議員報酬、政務活動費、議会事務費などに使ったお金）
2億5,482万円
（1.1%）

総務費
（庁舎管理、福祉バス運行、CTY放送などに使ったお金）
34億2,893万円
（15.0%）

公債費
（市が借りた借金を返済したお金）
31億1,536万円
（13.7%）

その他支出
11億4,336万円
（5.0%）

民生費
（高齢者、児童などの福祉や保育園（所）運営に使ったお金）
69億5,041万円
（30.5%）

教育費
（学校教育、社会教育や学校の建て替えなどに使ったお金）
22億4,841万円
（9.9%）

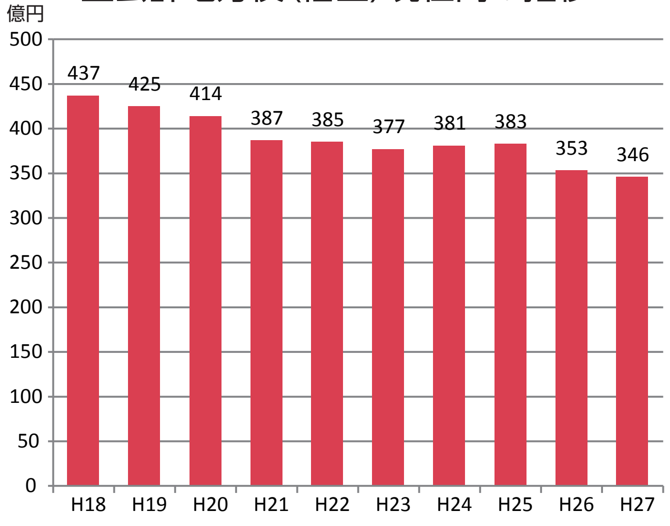
土木費
（道路、橋の建設や維持管理などに使ったお金）
18億8,013万円
（8.2%）

衛生費
（ごみ処理や予防接種・健診などに使ったお金）
12億6,474万円
（5.5%）

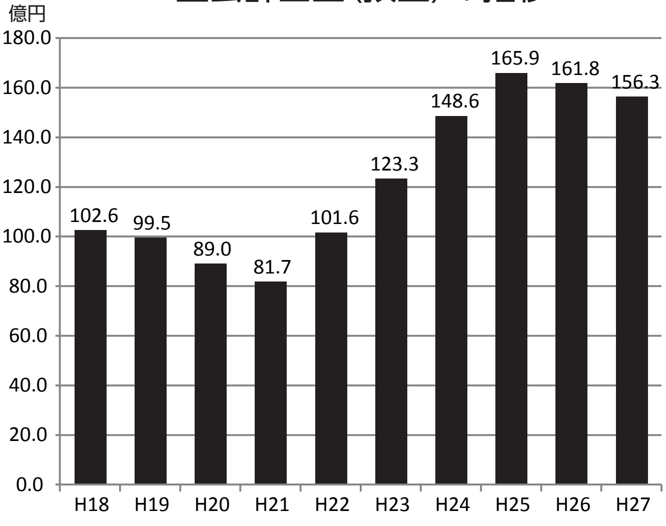
消防費
（桑名消防署への運営委託や市の消防団活動などに使ったお金）
18億3,526万円
（8.0%）

農林水産業費
（農業を活性化するために使ったお金）
6億9,065万円
（3.0%）

全会計地方債（借金）現在高の推移



全会計基金（預金）の推移



監査委員の意見

平成27年度 一般会計・特別会計 歳入歳出決算審査意見書（抜粋）

監査委員　羽場 恭博
監査委員　新山 英洋

合併特例債の短期償還、国の一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等の実施など、財源の重点的かつ効果的利用により計画的、効果的な諸事業の取り組みがなされた。

公共施設の統廃合による経費の削減、年々増加傾向にある事務事業・保守管理委託、補助事業等についての金額の精査、業務実績や成果品の検査・検収の実施を確実に行い、不要金の返金、委託内容等の見直しなど、経費の節約を図られたい。

各種事業の実施にあたっては、事業の費用対効果を十分に検証した上で、効果的・効率的な予算執行に努められたい。

健全化判断比率	平成27年度	平成26年度	平成25年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	－％	－％	－％	12.81％
②連結実質赤字比率	－％	－％	－％	17.81％
③実質公債費比率	10.5%	10.1%	8.8％	25.0％
④将来負担比率	－％	－％	－％	350.0％

※①②④は、実質赤字及び将来負担は生じていないため「－」で表記

公営企業会計	平成27年度	平成26年度	平成25年度	経営健全化基準
水道事業会計	－％	－％	－％	20.0%
下水道事業特別会計	－％	－％	－％	20.0%
農業集落排水事業特別会計	－％	－％	－％	20.0%

※ 資金不足は生じていないため、資金不足比率は「－」で表記

委員会での主な質疑

総務常任委員会

大安西分団消防車両の購入

Q　新しく購入する消防車両は旧車両に比べ向上した機能は。

A　主なものは、消防車両の真上方向にスライドできる大型の投光機、コンクリートや石を割るストライカー（破砕機）を装備。また、コンパクトストレッチャー（担架）を積載している。

放水の性能については、水平方向に約20m、真上の方向に約25m放水することができる。

平成28年度一般会計補正予算（第4号）

Q　庁舎修繕事業は、新庁舎建設を控え、最低限の修繕と考えられるが、修繕工事を行う判断基準はあるのか。

A　新庁舎完成後も現庁舎は残す予定のため、建物本体に大きな影響を及ぼす場合、もしくは利用に支障があるものを基準にしている。しかし、個々の事情もあるので、その都度判断し対応していく。

Q　総合戦略促進業務委託料等の内容及び委託先は。

A　委託内容は、主に調査分析になる。調査は総花的ではなく戦略的に展開し、地方創生に必要とされる観光資源や地域資源のブランド化、にぎわいを創出するためにはどうしたらいいかなどを中心に、いなべ市内外を通じて調査を進めていく。

委託先は、北勢地域で総合計画または総合戦略の受託実績のあるコンサルティング会社を対象にプロポーザルで決定する。

※プロポーザル……業務の委託先や建築物の設計者などを選定する際に、複数の者に企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行ったものを選定すること。

平成 27 年度一般会計歳入歳出決算認定

Q　防災無線事業費の機器の維持管理費は年間いくらかかるのか。

A　平成27年度は779万円であったが、将来的には平均2,000万円ぐらいかかる。

教育民生常任委員会

特用林産物施設移動台車の購入

Q　障がい者自立支援施設でしいたけ栽培する。必要となる移動台車は2,376万円で合計490台を購入する。売り上げはどれだけ想定しているのか。

A　１菌床で１年間約１kg収穫でき、平均出荷価格で約750円になる。４棟分合わせて約54,400菌床になり、売り上げが4,080万円。その中で経費が約64％必要になってくるので、純利益としては約1,460万円。

平成 28 年度一般会計補正予算（第４号）

Q　ひきこもり相談支援事業の相談員は誰を予定しているのか。

A　現在、ひきこもりに関する相談は、生活困窮者自立支援法に基づく相談事業で受け、平成27年度は４件、平成28年度は半年で既に４件の相談があり増加傾向。「ひきこもり」の相談支援をおこなう専門員を地域おこし協力隊として３人を募集予定。

Q　男女の出逢いの機会を提供するなど、結婚に向けて支援を行う未婚者支援事業は、どこが主体となって実施するのか。

A　主体はいなべ市。三重県のみえ出逢い支援事業の委託先である、「みえ出逢いサポートセンター」の協力、アドバイスをもらい実施する。

Q　結婚新生活支援事業補助金（一定の所得に満たない新婚世帯に対して、住居にかかる費用の一部を補助）は、新生活を始めるための１回限りの補助金か。

A　そのとおり。上限18万円を補助する。

平成 27 年度一般会計歳入歳出決算

Q　地域の元気臨時交付金基金を活用し、小中学校のエアコンを設置してきた。設置済みの学校は。また、今後の設置予定は。

A　今年の夏休みに丹生川小学校のエアコン設置工事が終わり、統合になる藤原の５校の小学校以外は全て終了。なお、建設中の藤原小学校と笠間小学校は新しい校舎に設置予定。

産業建設常任委員会

平成 27 年度一般会計歳入歳出決算認定

Q　小規模事業者支援事業費89万2,000円の内容は。

A　市内の商工業者が経営改善基金ということで、その利子の10％を限度として、85万4,300円の利子補給をした。それと合わせ新規創業者が創業資金を借り入れる際に保証料が必要になってくるので、その３分の１を補助。昨年、申請が３件あり補助額が３万7,700円。合計で89万2,000円。

決算　監査意見　委員会　討論　審議結果　一般質問　視察研修　市民の声　クイズ

平成28年度一般会計補正予算（第４号）

Q　有害鳥獣駆除の対象動物の種類は。また、今回の増額補正870万円の見込みは。

A　サル、イノシシ、シカが対象でカラス、ハクビシン、アライグマは駆除費用の対象としていない。今回の補正予算は、サルが130頭、イノシシ、シカで成・幼獣合わせて350頭分。

Q　有害鳥獣として処分をする対象の基準はあるのか。

A　作物に被害が起こっている場合に現地調査等を行い、被害金額を算出し、それに対して防除をしていくのか、有害鳥獣として処分をする対象を決めていく。

Q　ふるさと納税の具体的な取り組みは。また、現在の実績は。

A　パンフレットを東海管内の郵便局に備え付けをしてもらい、６月１日からいなべ市も全国に合わせて、ふるさとチョイス（寄付金額に応じていなべ市の特産品を選んでもらう「ふるさと納税ポータルサイト」）に取り組んでいる。６月１日から８月31日までの３カ月で239件、426万円の寄附額があった。

新庁舎建設特別委員会

新庁舎用地の取得

Q　取得用地の中に、にぎわいの森事業の用地も入っているか。

A　入っている。

新庁舎進入道路用地の取得

Q　土地購入の前に工事が行われている。工事前に購入しなかった理由は。

A　用地内にある太陽光施設の最終移設が精算等の変更手続きのため７月いっぱいかかった。今回の土地購入は、用地費や保障など含めた購入予算なので、精算ができないと金額の確定ができず９月議会になった。しかし、庁舎建設との関係で道路の工事を始めなければならないため、土地所有者の員弁土地開発公社に用地使用の願いをした。

平成27年度一般会計決算

Q　にぎわいの森事務事業委託料の内容、金額は。

A　にぎわいの森活性化計画の計画書策定で約780万円、にぎわいの森出店候補先の誘致にかかる業務で約130万円、にぎわいの森が誘致された場合のいなべ市における経済効果調査は三菱ＵＦＧコンサルタントに約300万円。

Q　新庁舎周辺地域活性化事業の報償費はどこに対する支出か。

A　石黒靖敏コンサルタントアソシエイツ事務所。毎月、店舗の実施設計を進めている。基本計画等の店舗との調整、レイアウトのアイディア等に伴う業務の報償。

Q　創生先行型交付金事業のうち委託料1,850万円の説明を。

A　広告宣伝料が約70％を占めている。グリーンツーリズムいなべ事業の広告を朝日新聞８月18日付けと２月26日付けで東海３県に、中日新聞２月25日付けで名古屋市内全域に掲載。名古屋の商圏出かけていなべのＰＲや販路開拓やテストマーケティングをした。おもにここでは会場費。

請願書審査の結果、国へ意見書を提出

員弁郡・いなべ市ＰＴＡ連合会会長中村里恵氏他２名から下記の４件の請願書が提出されました。
所管の教育民生常任委員会で審査を経て全員賛成により、国へ意見書として提出することになりましたので意見書趣旨を掲載します。

義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書

未来を担う子どもたちの「豊かな学び」を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことであり、その時々の地方財政状況に影響されることのないよう、義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実が求められます。

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

教育予算を拡充し、教職員配置の拡充も含めた教育条件の整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決をはかり、子どもたち一人ひとりを大切にし、子どもたちの豊かな学びを保障することにつながります。

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

厳しい経済・雇用情勢は、子どもたちのくらしや学びに大きな影響を与えます。家庭での経済格差を教育の格差につなげないよう、制度・施策のよりいっそうの充実を求められています。

防災対策の充実を求める意見書

避難所となっている学校において、どのような初期対応が必要か、教職員が避難所運営にどうかかわるか等の議論、学校・家庭・地域が連携した、巨大地震等の災害を想定した防災対策の見直しや充実が急務です。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとおりです。

財産の取得について（新庁舎建設事業用地）

新庁舎を建設する用地を購入しようとするものです。

可決

反対討論　衣笠 民子

新庁舎建設は住民と共に必要性から論議すべき

新庁舎用地として買収した土地を、市が４億3,000万円の税金で取得しようとするもの。にぎわいの森事業は、十分な根拠や説明責任が果たされていない。一体に取り組まれている新庁舎建設は、必要性にも疑問がある上、場所の選定から市長の独断である。共産党の「市民アンケート」では、約77％が「このまま進めるべきではない」としている。ずさんなまま進めるべきではない。いったん白紙に戻し、住民と共に必要性から論議が必要。

賛成討論　位田 まさ子

市民の安全、安心の拠点、新庁舎の建設を早急に進めるべし

新庁舎、保健センター、シビックコアの建設と市民の安全、安心を守る拠点として必要な土地取得である。活断層の懸念というが、どこにも絶対安全、安心はない。是非については、市長選挙で負託を受けた。万人に賛成を求めるのは無理。残る庁舎も、協議が早急に必要であり、建設を早急に進めるべき。にぎわいの森用地も、いま必要でないから後でと、勝手な売買は地権者が許さない。喫緊の課題であり、早急に必要と考え賛成する。

反対討論　清水　実

市民無視の市長は信用できない

市民の声を無視し、回答しない市長では信用できないので反対する。

財産の取得について（市道阿第107号線道路改良事業用地）

市道阿第107号線を建設する用地を購入しようとするものです。

可決

反対討論　岡　恒和

市民的合意がなく調査も不十分

以下の理由で反対。
①庁舎建設の市民的理解、合意ができていない。庁舎建設の是非、場所の選定など基本的な事柄が議論されずに、市長周辺だけで決められてきた。
②にぎわいの森の店舗に対する市の負担について、試算していない。このまま進めば、店舗の経営まで市民の負担になりかねない。
③庁舎建設とは切り離すべきとした議会提言に反し、にぎわいの森が事業に含まれている。
④活断層について十分な調査、評価が行われていない。

賛成討論　種村 正巳

庁舎建設と交通緩和対策として必要

新庁舎建設に伴い進入道路新設と周辺の道路整備に対して賛成する。

新総合庁舎にアクセス道路として機能性を持たせ利便性を図るため、員弁町からも大安町からも藤原町からも北勢町からも国道、県道、市道からの進入道路は必然的に新設、改良、改修が進められるべき。

また、いなべ市の中心的地理的条件を満たし、有事の際に市庁舎の多機能が十分発揮できるためにも市庁舎周辺の交通緩和対策が庁舎建設とともに実施されるべき。

平成28年度一般会計補正予算（第４号）

本年度事業に、それぞれ必要な経費の増額や不要な経費の減額を補正するものです。

可決

反対討論　清水　実

有害外来種の対策がなく期待できない

有害鳥獣対策においては、サル、イノシシ、シカで、外来種のハクビシンやアライグマは含まれない。アライグマについては、新庁舎建設課からの駆除要請も無視。一方、桑名の自然環境保全センターでは、狩猟免許（わなと銃）を持った職員が行う。環境学習みえや、リンクに発表された「みんなもできる獣害対策講座」も５回実施したのみで数字的成果は公表されていない。成果に重きを置かない政策に期待できないので反対する。

賛成討論　清水 隆弘

市の総合戦略を加速度的に進めるために必要

この補正予算には、地方創生推進交付金を活用し、プロモーションビデオ、若者のニーズ調査、ポテンシャル調査などが計上されている。

わが国は人口減少時代に突入している。そのような状況の中、消滅都市にならないように地方創生のかけ声のもと、自治体間で、人の争奪戦が繰り広げられている。本市の総合戦略の将来都市像は「住んでいーな！来ていーな！活力創生のまちいなべ」だ。その目標を具現化するために必要不可欠と考え賛成する。

反対討論　衣笠 民子

新庁舎建設で、住民が置き去りにされている

新庁舎建設事業は、まちの形も左右する住民みんなにかかわる事業。合併特例債に間に合わせることを理由に、なし崩し的に議会の承認を取り付け、市民置き去りで進めている。

合併特例債を有効に使うなら、丹生川小学校、保健センターなど住民が納得のいく事業に使うべき。

合併時のような、区単位の丁寧な説明会や市によるアンケート実施など住民参加のまちづくりにすべき。合併特例債を盾に民主主義をないがしろにしてはいけない。

国保広域化にあたって、誰もが安心して利用できる保険制度とするよう求める請願

国民健康保険の広域化にあたって、誰もが安心して払える国民健康保険制度とするよう三重県に対し意見書の提出を求めるものです。

不採択

反対討論　岡　英昭

公平な納付制度が崩れる

現在、各種の低所得者対策として、保険料軽減負担制度などある中、さらに差し押さえや滞納処分を禁止すると公平な国民の納付制度が崩れ、不公平な国民健康保険制度となることからこの請願の採択に反対する。

賛成討論　衣笠 民子

安心できる保険制度は市民の切実な思い

国民健康保険は、社会保障として国が財政的に責任を負うべき制度。しかし、国庫負担は事業費の半額から給付費の半額へなど減らされ続けている。

一方、国保被保険者は、高齢者、非正規労働者など低所得者が大きな割合を占め、滞納率が世帯比で18％にものぼり、保険料の負担が暮らしを圧迫している。

保険者がいなべ市から県一本の広域化に変わるため、誰もが安心して利用できる保険制度とするよう県に求めるのは、市民の切実な思い。

総括質疑Q＆A

図書館事業

Q：図書館職員の内訳と今後の計画は。
A：正・非正規職員数14人（内正規３人）。来年度正規職員の採用計画はない。

Q：館長の権限は。
A：生涯学習課長が兼任しており、同等の権限。

博物館事業

Q：自然科学館等の学芸員職員の配置計画は。
A：現任職員で十分事業が遂行されており、次年度は考えていない。

Q：実績から参考とする博物館は。
A：愛知県の鳳来寺山自然科学博物館を参考としたい。

大安ぴあハウス条例の制定

Q：大安ぴあハウスの利用承認基準は。
A：指定管理者の受け入れ可能は障害度による。定員までの申込み順を原則とする。

Q：利用にあたって付けられる条件は。
A：たとえば、門限等共同生活の決まりを守れること。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対が分かれた案件

～ 下記以外の44案件は全員賛成で可決しました ～

議長 川瀬利夫は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会 新：新庁舎建設特別委員会）

会派			創風会						政和会					いなべ未来				日本共産党いなべ市議団		無会派		
議案名	付託委員会	審議結果	伊藤智子	清水隆弘	位田まさ子	伊藤弘美	種村正巳	小川克己	新山英洋	多湖克典	伊藤正俊	川瀬利夫	水谷治喜	小川幹則	鈴木順子	岡英昭	林正男	岡恒和	衣笠民子	清水実	川瀬幸子	渡邉忠比古
平成28年度一般会計補正予算（第３号）【第3回臨時会】	委員会付託省略	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
財産の取得について（新庁舎建設事業用地）	新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
財産の取得について（市道阿第107号線道路改良事業用地）	新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
市道路線の変更について	新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算（第４号）	総･教･産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について	総･教･産	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	教	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
国保広域化にあたって、誰もが安心して利用できる保険制度とするよう求める請願	教	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×

一般質問

市政を問う

13人が登壇

一般質問は答弁を含めて一人あたり45分。会派の場合は人数を会派の持ち時間として、その範囲内で一人60分を上限に会派内で割り振って行います。
要約して掲載しています。

伊藤　智子……12
1．中学生の社会とのよりよい関わりかたについて
2．市民の文化力向上の施策と文化力による地域づくりについて

清水　隆弘……13
1．指定管理者制度について
2．ビッグデータ及びオープンデータについて

位田まさ子……14
1．いなべ市における地域包括ケアシステムの構築について
2．空き家対策について

種村　正巳……15
1．水田（農用地区域内）の耕作放棄地の現状を問う
2．主要地方道等の進捗状況と今後の見通しについて問う

伊藤　弘美……16
1．子ども食堂開設について
2．フードバンク設立について

多湖　克典……17
1．にぎわいの森について
2．社会スポーツについて

岡　　英昭……18
1．教育問題 －新学習指導要領案の教育課程、生活指導等について
2．保育士の給与改善、勤務条件の向上等について
3．自衛官募集相談員への報酬予算化を

鈴木　順子……19
1．市民と協働のまちづくりについて
2．共助の社会を目指して
3．放課後児童クラブについて

岡　　恒和……20
1．「新庁舎建設」に関する市民アンケートへの見解を問う

衣笠　民子……21
1．「子どもの育ち応援」一番のまちに
2．学校給食の充実について
3．一体型藤原小中一貫教育を問う

川瀬　幸子……22
1．まちづくり
2．再生可能エネルギー導入の進捗状況について
3．放課後児童クラブの委託と支援

渡邉忠比古……23
1．新庁舎道路について
2．給食について
3．ＴＯＪ（ツアー・オブ・ジャパン）について

清水　　実……24
1．中央環境審議会自然環境部会における鈴鹿国定公園の変更について
2．市職員の懲戒処分について
3．有害鳥獣の解体処理焼却施設について

創風会
伊藤智子（のりこ）

1．中学生の社会との よりよい関わりかたは
2．市民の文化力向上の施策と文化力による地域づくりは

【質問１】各中学校における職場体験、ボランティア活動、地域との関わりについて。
①職場体験の状況は。
②受入協力者の職種は。
③ボランティア活動の状況は。
④生徒が感じ習得したものは。
⑤地域との関わりは。
⑥課題と今後は。

【教育長】①第2学年で2日間（2校）、3日間（2校）。
②飲食接客業、農業、保育園、消防署、病院、福祉施設、鉄道、自動車、郵便局など。
③募金、寄付活動、慰問コンサート、木工作品、観葉植物販売、地域清掃など。
④地域貢献への充実感、喜びを感じている。
⑤体育祭、合唱発表会、三年生を送る会などに保護者、地域への参加呼びかけをしている。
⑥時間の確保が難しい。小中一貫教育で系統的な学習を構築する必要がある。

【質問２】①市民の文化力向上に対する市長の見解は。
②文化力を生かしたまちづくり、生きがいづくりは。
③広く市民に文化に親しむ機会の提供及び文化力を育み、より豊かな生活のための施策は。

【市長】①参加者と指導者が持続的に発展できるようコーディネートできる人材の育成が広がりを生む。
【教育部長】②伝統行事や民族芸能への支援、文化施設や図書館などへの連携の強化、地域の特色ある文化財の活用、放課後子ども教室事業に日本古来の伝統文化・芸能などを学ぶ機会を取り入れ、支援していく。
③名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会、映画の試写会、いなべ市出身の長崎貴洋氏らによる五重奏団いなべ特別公演などを開催。今後も鑑賞の機会を設けていきたい。

いなべ市大安公民館にて パルテンツァ五重奏団

1．指定管理者へのチェック機能を向上させる方策は
2．オープンデータをしっかりと推進する考えは

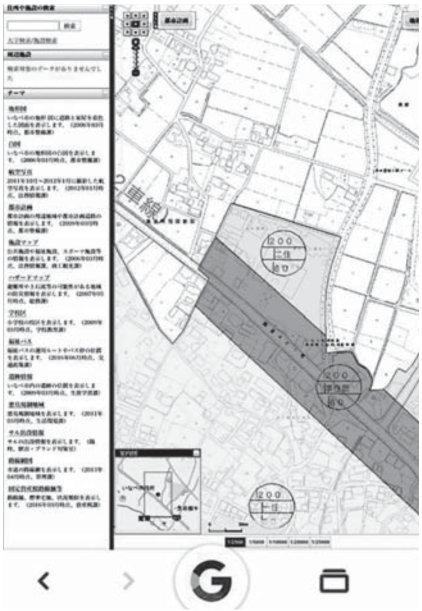
創風会
清　水　隆　弘

【質問１】①指定管理によりサービス向上の具体例は。
②最低賃金以下で働かせ、社会保険未加入、時間外手当未払い等、ブラック企業で「官製ワーキングプア工場」ではいけない。留意点は。
③労働条件は協定書に明記し、労働条件等の問題解決のため公共施設等総合管理計画にあるモニタリングの指針を設定しては。

【農林商工部長】①阿下喜温泉は、直営時は年末年始の休業を市の就業規則により行っていたが、指定管理により12月31日と1月1日以外は営業し、利便性が向上。
【福祉部長】①障害者活動支援センターは、利用者が37人から51人に増え、内職中心からパンづくり等就労支援場所が拡大。山郷重度障害児生活支援センターも12人から24人に増え、重度の生活介護に特化し、利用者等の安心が図られた。
【総務部長】②事業報告書と現場で従業員等の条件等、確認できる範囲で対応しているが、実際に確約する文書はない。
③今後他市町の事例を参考にしながら検討。

【質問２】①ため池ハザードマップの「いなっぷる」への提供は。
②「いなっぷる」と住民基本台帳データの連動は。
③オープンデータ推進のKPIを設定し、PDCAサイクルにて全庁的に取り組むべきでは。

【企画部長】①避難所や土石流等のハザードマップへの組み入れを含め、提供の検討を進める。
②地図上にどのように組み合わせていくか、人口分布など有用性、利便性を検証しながら情報化推進委員会、関係部署と協議し検討する。
③行革集中改革プランの見直し時に目標値を定める。



いなべ市地理情報システム「いなっぷる」

オープンデータ……行政が保有するデータを機械可読形式で、かつ、誰もが二次利用可能である旨の著作権意思表示を行い、公開したデータのこと。
KPI……目的を達成するための過程をクリアできているかを計測する指標。
PDCA……Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の４段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

創風会
位田まさ子

1. 市の地域包括ケアシステムの構築を問う
2. 空き家対策「空き家をチャンス」とする取り組みを

【質問1】①構築の必要性と今後の取り組みは。
②健康増進、介護予防の現状は。
③日常生活支援事業の変更と特徴は。

【福祉部長】①今後、高齢者、認知症の増加が予想され、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で、能力に応じ自立した生活が営めるよう、介護・医療、予防、住まいを包括的に提供する仕組みづくり。
②元気クラブと青空デイサービスがある。
③一般高齢者も利用できる。在宅介護「だいふくの会」が交流会、講習を定期的に開催。今後、「介護予防・生活支援サービス　ハートキャッチいなべ」を新設する。
【市長】②元気体操リーダー557人。立ち上がり数、77カ所。ほぼ市内全域に広がる。
【市民部長】②5年、10年後の医療費抑制、健康寿命が0.3歳伸びており効果大と思う。

【質問2】①空き家の把握は。
②課題と市の考えは。
③企業連携は。
④グリーンツーリズムの成果は。

【都市整備部長】①京都産業大が北勢、藤原5地区調査で72戸、全市の実態把握が必要で、本年度末までに全域調査する。
②空き家バンクへの登録を呼びかける。現在4件あり、移住体験ツアー、東京での移住相談で、リノベーション（空き家の活用等）事業をアピールする。
③市内企業と情報交換し、誘致にも力を入れる。
【市長】③古民家風空き家があれば、「ゲストハウス」として、使用してもらうよう企業にセールスする。
【企画部長】④現在、地域交流地点の有力物件が3件あり、1件が県の補助金を利用して、地域が主体となり、学生との交流拠点として予定している。

「音楽療法」講演会（だいふくの会）

創風会
種　村　正　巳

1. 農用地区域内の水田耕作放棄地の現状を問う
2. 主要地方道等の進行状況と今後の見通しは

【質問１】①耕作放棄地の水田面積は。
②１筆ごとのほ場調査と実績は。
③地区外地権者への働き掛けは。
④今後の地域との連携の取り組みは。

【農林商工部長】①市内の農用地区域 2,617ha のうち水田の耕作放棄地は 26 筆、1.9ha。
②農地パトロールで耕作放棄地所有者に意向調査を実施。調査結果では「所有者で耕作者を探す」が、ほとんど。
③地区外地権者へは、農業委員会、集落農家組合と連携して、管理を促す啓発文書を送付している。市内の認定農業者は個人 62、法人 15 の経営体で、集積率は 70％。人・農地プランの未策定地区は、集落で農地を守る考えを浸透させていく。
④基盤強化法にもとづく利用権設定事業で農地の流動化を図るため、耕作放棄地再生利用緊急対策で多面的機能支払い交付金、中山間地直接支払い事業を活用。農地中間管理機構を介して発生防止・解消に取り組む。

市道笠田新田坂東新田線

【質問２】①員弁川架橋の工事進行状況は。
②市道笠田新田坂東新田線の完了予定は。
③国道 421 号線三笠橋の耐震診断と補強工事は。

【建設部長】①主要地方道四日市員弁線のバイパス。延長 2,100 m幅員 12.75 mで計画された橋。橋長Ｌ＝ 192.4 m。5 径間で計画され平成 29 年度以降、員弁川右岸より橋台橋脚等に着工予定。１期工事は延長Ｌ＝ 900 m総事業費 18 億 5,000 万円、完成は平成 32 年度。現在進ちょく率 24.9％。引続き 2 期計画（国道 421 号線まで）も、要望。
②国補事業社会資本整備総合交付金で、延長 1,850 m、幅員 10 m（全体事業費 15 億円）。平成 30 年度完成予定。
③平成 26 年度に耐震補強設計を実施。平成 28 年度から補強工事に着工。

創風会
伊　藤　弘　美

1. 子どもの貧困状況は
2. フードバンクなどの設立は

【質問１】子どもの貧困が社会問題になり貧困家庭の子どもに無償で食事を提供する「子ども食堂」が全国で続々と設立され、現在では300カ所以上が活動している。市内の貧困率と家庭内の問題や悩みの相談件数は。

【健康こども部長】市内の貧困率はわからない。平成27年度、健康こども部所管の相談件数は合計で4,539件（訪問など保健師活動の相談は除く）

【質問２】現在のフードバンクは家庭や企業から食品を譲り受け、福祉施設や生活困窮者に配布。食べられるのにゴミとして捨てられる。「食品ロス」を減らすねらいで国の試算は年間500万トンから800万トンが捨てられている。現在、国内では安価で、飲み放題、食べ放題、洋服のレンタル等、常に新しい身の回りのことが展開され国民の評価も高い。時代は急速に変化をたどっている。時代に即応した取り組みで市民に満足度を与えれば納得してもらえる。

新庁舎「にぎわいの森」へ店舗を都会から招致する予定だが、条件が悪くなったら閉店し撤退が危ぶまれる。現在、三重県でも3市が子ども食堂に取り組んでいる。当市でもにぎわいの森の一画に「子ども食堂」と「フードバンク」を設立し、市民に貢献すれば評価も受ける。体制づくりは行政で、運営はＮＰＯ法人、民間団体がする。所見を問う。

【市長】季節に変動があり「子ども食堂」の常設は難しいが、イベントの中ならできる。
【福祉部長】「フードバンク」の設立の予定はない。

1. にぎわいの森事業を問う
2. 社会スポーツについて問う

政和会
多 湖 克 典

【質問1】「にぎわいの森交流会」に市民の参加はごく少数だった。「にぎわいの森事業」は、まだまだ理解が得られていないのではと感じた。
①出店事業者の事業計画は。
②市内事業者と競合する可能性は。
③出店事業者に赤字補てんをする可能性は。
④にぎわいの森事業専任担当の市職員はいるか。
⑤「にぎわいの森事業」において、市が行う業務分担は。
⑥市が負担するランニング経費は。
⑦何年計画の事業か。
⑧もしも事業を撤退すべき状況となった時はどうなるか。
⑨平成28年6月議会では、「にぎわいの森事業はまだ同意を得られていないので新庁舎建設費用からはずした」と説明があった。にぎわいの森事業の議決は行うのか。

【市長】①ない。
②ない。
③赤字補てんはしない。
④いない。
⑤ない。
⑥0。
⑦毎年報告を求める。
⑧その時の長が提案し、議会に承認を求める。
⑨平成28年12月議会でにぎわいの森事業の建設に係る債務負担行為の承認を求める。建設費はその都度提案する。

員弁運動公園海洋センタープール

【質問2】①いなべ総合学園高校の甲子園出場に際して、賞賜金400万円を支出した。決算は。
②いなべ運動公園内プールは、夏休みでも遊びにくる人が少ない。なにかうまく活用する方法は。
③市民体育祭あるいは運動会というような、一般市民参加型のスポーツイベント開催の意向はあるか。

【教育部長】①まだ終わっていない。
②今までどおりのイベントや水泳大会を継続予定。
③新しいプログラムを考えていきたい。

いなべ未来
岡　　英　昭

1．新学習指導要領案への対応は
2．保育士の給与等改善は
3．自衛官募集相談員への処遇の現状は

【質問１】次期学習指導要領案で、小学校3年生から英語活動が始まり、5年生から教科となる。「未来いなべ科」も新設する。
①増加分は土曜日授業を復活するのか。
②「未来いなべ科」の内容は。新導入せず主要５教科を強化すべきでは。
③英語科の導入による、入塾の低年齢化対策は。
④生活指導上の問題行動と対処は。

【教育長】①現行時間内で昼休み等を活用し授業時間を生み出す。土曜日授業は復活させない。
②週２時間、「生き拓く力」等を身に付け、学習意欲を高め真の学力をつける。
③学校での授業を充実させる。
④暴力、家出等13項目あるが、いじめ（７件）、喫煙（１件）。家庭訪問や警察等関係機関へ連絡。

【質問２】①職務が多岐多忙化する、保育士独自の給与表と諸手当の新設で待遇改善を。
②児童虐待等の実態と対応は。

【総務部長】①保育士は一般行政職での採用。独自の給料表は設けない。今は園長の管理職手当以外ないが、国等の動向も見て検討する。
【健康こども部長】②保育園で虐待を発見した時点で児童相談所等に通告する。平成27年度17件。今年度８件（７月時点）。

【質問３】自衛官は国民の生命・財産を守る重要な任務をもつ、進路選択の募集相談員について。
①職務の内容は。
②報酬等の待遇は。

【総務部長】①募集への環境作り、情報の提供、入隊希望者の紹介等。
②防衛問題等に精通される人が委嘱されている。無報酬である。強い熱意と高い奉仕精神の人であり、市としてできる限りの支援はするが現状どおり。

自衛官募集パンフレット

1. 市民と協働のまちづくりを問う
2. 共助の社会を築くためには
3. 放課後児童クラブへの支援策は

いなべ未来
鈴 木 順 子

【質問１】①いなべ市公共施設等総合管理計画により個別計画の策定時に、市民の声をどのように集約するのか、また全庁横断的に取り組むために「公共施設マネジメント課」が必要では。
②「にぎわいの森」について、商工会や地元との連携をどのように図り、活性化にどのようにつなげるのか。
③若者の政策形成過程への参画が必要と考えるが。

【総務部長】①地域住民、利用者への説明会、意見交換等の実施により幅広く市民の意見を聞く機会を設け、合意形成を図る。
【市長】①将来的には「公共施設マネジメント課」を設置したい。
②出店者は、地元と協力していく強い思いがあり交流もある。新しい市場や販路があり、交流会から相談会に展開したい。
【企画部長】③若者の意見やアイデアをまちづくりに活かしていくことは重要であり、今議会にも若者ニーズ調査事業の予算を提出した。

放課後児童クラブ「さくらんぼ」

【質問２】①高齢者ボランティアポイント制度の必要性は。
②ケアラー（介護者）支援事業の必要性は。

【市長】①社会福祉協議会で検討し、具体化していきたい。
【福祉部長】②ケアラーから意見を聞き、家族介護支援事業内容を検討する。

【質問３】市の基本的な考え方は。利用者の安全性確保等、指導員と協議をする必要があると考えるが。

【教育部長】民設民営で運営し、いなべ市の設置条例、実施要綱に基づき委託、補助金の支援をしている。代表者協議会を通じて意見集約をし、問題点があれば改善の支援をする。

日本共産党いなべ市議団
岡　　恒　和

「新庁舎建設」に関する市民アンケートへの見解を問う

【質問1】アンケート結果では、「このまま進めて良い」と思わないが76.6%、「進め方」に対しては、84.3%が市民の要望や意見が反映されていないと答えている。この結果をどう考えるか。

【市長】建設反対の意見を前面に出したアンケートで当然の結果。市民の1%が快しとしていないので、理解を深める努力を続ける。

建設予定地と活断層（三重県詳細活断層図から）

【質問2】アンケートに寄せられた意見について問う。
（1）にぎわいの森
①にぎわいの森は事業として成り立つのか。後々、市の負担にならないか。7店舗が経営できるためには、1日の売り上げがどれだけ必要で、何人来店が必要かの計算はしたか。
②店舗の建設費のうち、市が負担するのはどこまでか。
（2）建設予定地と活断層
①三重県詳細活断層図では、北勢庁舎下まで断層が表示されている。あえて活断層の近くを選んだのはなぜか。
②活断層図の利用上の注意として「沖積低地や、扇状地、または埋立地・干拓地などの最近数千年間に形成された地形では、今回の調査で確認できなかった未知の活断層が埋もれている可能性も残されています」と記載されている。100億円もかけるのであれば、ボーリング調査などが必要ではないのか。

【市長】（1）①計算そのものは具体的にしていない。企業誘致と考えている。
②合併特例債の適用になる施設まで。
（2）①次の活動期間まで900年あると推測できることと、断層帯端から数百m離れている。
②どの程度の技術的な水準の調査がいるのか、はっきりすれば検討する。

1.「子どもの育ち応援」一番のまちに
2. 学校給食の充実を
3. 一体型藤原小中一貫教育の見通しは

日本共産党いなべ市議団
衣 笠 民 子

【質問１】①来年度、就学援助の対象を生活保護基準所得の 1.4 倍から 1.5 倍に引き上げて対象拡大をする考えは。
②県内で基準を 1.5 倍にしている市町は。
③就学援助の入学準備金支給を入学準備に間に合うよう支給を。
④全小中学校給食費無料の実施は。

【教育部長】①近隣市町の動向を見て、足並みをそろえて引き上げをしたい。
②鈴鹿市、亀山市、伊勢市、鳥羽市、志摩市。
③中学校の入学準備金は小学校時代の資料があるので、４月の支給が可能。四日市市、桑名市、亀山市が検討を行っているので検討する。
【市長】④全額補助は高額所得者にも補助することになり、逆差別のよう。負担できる人には負担してもらうのが、国家の考え方。議論をしてもらう必要がある。

【質問２】①藤原学校給食センターの食材調達を市の登録業者からにする考えは。
②防災の観点からも、北勢中学校に調理室建設の考えは。

【教育部長】①平成 29 年度からの調理委託業者選定のプロポーザル仕様書に書き込み、市の登録業者からにする。
②考えはない。

【質問３】①藤原の小中学校の全校児童生徒数は。
②市内最大規模の大安中学校は３学年で 400 人規模だが、藤原の学校は９学年で同規模。大変だと思うがどうか。

【教育長】①平成 28 年度で、中学生 165 人、小学生 272 人、合わせて 437 人。
②各学年２学級。１クラス 25 人程度で教育、指導をするのに一番効果的な人数で大きな効果が出てくると思う。

藤原中学校に隣接した藤原小学校（向かって右側が中学校、左側が小学校）

無会派
川　瀬　幸　子

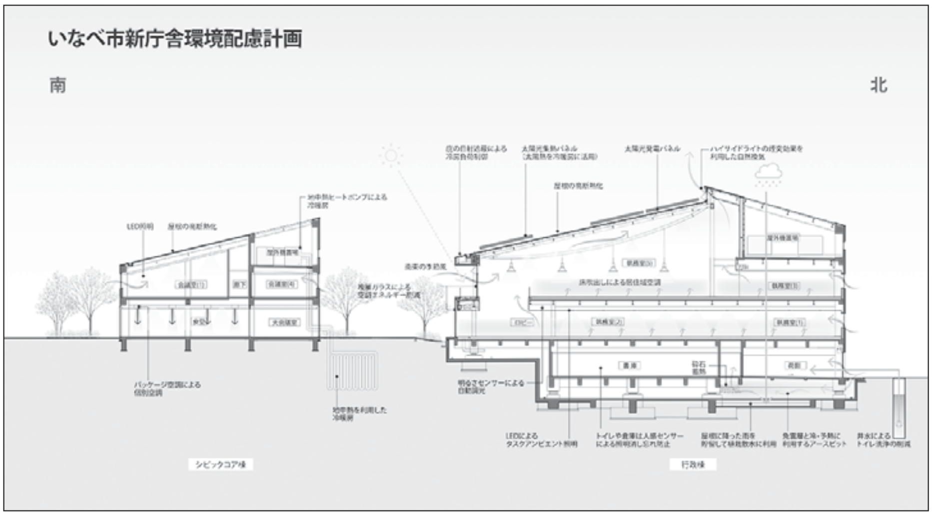
1．「にぎわいの森」「新庁舎建設」などの構想と決定方法は
2．再生可能エネルギー導入の進行状況は

【質問１】再生可能エネルギーとは「エネルギー源として永続的に利用することができると認められたもの」と法律で定義されている。市が化石燃料の天然ガスを率先して導入することにより将来市民の生活に変化が生じる可能性がある。選択肢が増えることの利点もあるが、市内のLPガス業者は、廃業を余儀なくされることも考えられる。「にぎわいの森」も、計画性がない。
①にぎわいの森・新庁舎建設などの構想と決定方法は。
②市民への周知方法は。
③天然ガスの使用について、誰がどのように企画し、決定するのか。緊急時への対応は。

【総務部長】①新庁舎整備基本方針を経て、防災拠点と、環境に優しい庁舎をめざした経緯の報告。審議、承認を得て新庁舎建設特別委員会で決定。
②広報誌やホームページで周知を行う。
③熱源方式の提言として経済性、信頼性、省エネルギー・環境性を考慮した。ライフサイクルコストが最も安価で、省エネ性にも優れた「電気と都市ガス」の組み合わせを、市として選び、新庁舎建設特別委員会で了解された。移動式のガス発生器で臨時供給を検討している。

【質問２】新庁舎建設に伴い、化石燃料の天然ガス、再生可能エネルギーの太陽熱・地中熱を利用した設備も投入される。
①CO_2削減のための取り組みは。
②市民への提言と補助は。

【市民部長】①CO_2の削減には基本的な改革が必要である。市民や事業所に啓発していく。
②現在補助制度を設けることは考えていない。



※シビックコア棟は地中熱＋ヒートポンプ利用。
行政棟、議会棟、保健センターは電気＋天然ガス利用。

無会派
渡邊忠比古

1．新庁舎周辺道路整備を問う
2．給食の安全を問う
3．ツアー・オブ・ジャパンいなべステージを問う

【質問1】①新庁舎進入路は、交通渋滞のないように計画されているか。
②渋滞解消のために、新庁舎北に道路と田切川（鎌田橋）上流に橋が必要では。
③新庁舎進入路建設の計画において国や県などと密な連携を行っているか。
④伸びしろのある市づくりとして県道609号を国道365号とつなげる意向は。

【建設部長】①南濃北勢線からと現在進めている北勢多度線からの進入により分散され、交通渋滞はみこまれない。
②北勢多度線の4車線化と国道306号の交差点改良により渋滞解消になる。
③国交省とは北勢町にできる東海環状インター関連で、県とは北勢多度線改良工事で、公安委員会とは交差点協議で、地元自治会とは用排水関連で協議を重ね、工事が順序よくできるようにしていく。
④将来的にはそうなる。

小学校給食

【質問2】①異物、異味、異臭、異色があった場合、経緯、対応、原因の記録は残っているか。
②それはどこまでの人が知っているか。
③結果を公表してはどうか。

【健康こども部長】【教育部長】①記録はある。
②健康に懸念のある場合は保護者まで伝える。
③必要なら公表するが、いままで必要だったことはない。

【質問3】①今回の反省と課題は。
②次回はどの様なものとなるか。

【農林商工部長】①アンケートでは、「いなべFMの中継があり良かった」「近くで観戦できた」「オリジナルビジョンの画質が良い」「駐車場がわかりにくい」「周回数の表示が欲しい」などの意見があった。②実行委員会を立ち上げて方針を決める。

無会派
清　水　　実

1．藤原岳の生態系維持回復計画は
2．市職員の懲戒処分は
3．有害鳥獣の解体処理焼却施設は

【質問1】①シカの採食後の生態系回復計画は。
②部長自ら狩猟免許を取って、シカの駆除に努める姿勢を示すべきでは。
③外来種「ハルザキヤマガラシ」駆除の進行状況と、県との対策は。

【農林商工部長】①滋賀、三重の両県で対策会議を数回行い、平成27年度に計画案が作成された。国も協力を約束し、具体的には県と市が協力して実施する。
②免許を取る予定はない。
【教育長】③広がりを抑えようと、山岳団体等の人が、自主的に、周辺駆除に協力してもらっているが、改善しているとは言えない。鈴鹿国定公園の管理者は、三重県なので、県からの要請や協力依頼があれば、率先して協力する。北海道の事例で、刈り取りだけでもある程度の効果はみられるので、県としても検討していくとの回答があった。

【質問2】市職員の懲戒処分について、市民への影響と本人の復職のことについての配慮は。

【市長】停職3ケ月の処分ということで、復職後については決まっていない。市民への信頼回復に努める。

【質問3】6月定例会での一般質問以降は、獣害ブランド対策室での部会で数回の検討会を実施したが、解体処理焼却施設を建設するという結果はでなかった。現地視察をした結果は。

【農林商工部長】3カ所の現地視察に行った。中でも岡山県和気町では交通事故死の個体が主な物ではあるが、大型のコンポストで堆肥化しており、6人の職員で年間経費63万円、建設費も2,000万円ほど。県も将来的に有望視している。

藤原岳山頂付近のシカ

産業建設常任委員会 視察研修（7月20日～21日）

いなべ市では、有害鳥獣捕獲後の個体処分として埋設処分への負担が大きくなり、その処分方法については行政課題として挙げられています。

産業建設常任委員会では、有害鳥獣の処分について、焼却施設建設を検討するため、**福知山市**の中丹地域有害鳥獣処理施設へ視察を行いました。

施設建設による効果として、ハンターの高齢化が進み、埋設処分で苦労していた点が改善され、個体を冷凍保存することにより、衛生面による悪影響がほとんどないとのことでした。

いなべ市においては、捕獲後の処分について、長年に渡り埋設処分を奨励してきました。しかし、「体力的、環境的に負担が大きい」との声も多く出されています。有害鳥獣による被害は年々深刻化しており、行政課題としてあがっているものの具体的な対策（解決）には至っていません。

今後も進むであろう高齢化を考えるとき、有害鳥獣の駆除、処分については早急に課題解決に向けて検討に入る必要があります。

「中丹地域有害鳥獣処理施設」を視察

「枚方市地域活性化支援センター」を視察

商店街の活性化、「にぎわいの森」事業など、現在、いなべ市が取り組もうとしている事業、その人材育成や支援のあり方について、**枚方（ひらかた）市**へ視察に行きました。

枚方市地域活性化支援センターは、商工業のさまざまな専門スタッフによる相談窓口、経営管理や販路開拓、ＩＴの高度化など事業経営に関する相談支援を行っています。また、新たな事業を目指す事業者に対して、創業を志す時期から創業後のフォローまで、さまざまな段階に応じ一貫して支援を行い、市が主体となって支援メニューを考え、商工会議所や商店街と連携を図っています。空き店舗対策と地域課題をつなげ、商店街が主体となり地域を巻き込んで取り組んでいます。

いなべ市では、地方創生加速化交付金を活用したグリーンクリエイティブ推進事業において、阿下喜商店街の活性化に取り組んでいますが、市内全体に波及できる事業とはなっていません。税の公平性から、特定地域、特定事業者への支援にとどまらず、市が主体となって商工会と連携し、事業者への相談支援を拡充する必要があると思われます。

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

◎　毎月は大変だと思いますが、２カ月に１回ほど議員さんが取り組んでみえる市の問題点や、今後考えていくべき問題など、具体的にリンクやINABEを通して読者にも伝えていってほしいと願います。今回は特に読むにあたって中身がこく、とても参考になり良かったと思います。
65歳　女性

◎　新庁舎他議員様方々の説明などくわしく書いてありよかったと思います。　78歳　男性

◎　議会のことはあまりわかりませんが、クイズが楽しみです。答えを出すのに少しづつ読まさせてもらってます。
79歳　女性

◎　広報誌が以前より読みやすくなりました。視察研修などで学ばれ研さんを積まれたたまものだと感じます。議会のこともよくわかります。武雄市のような図書館になれば今以上に利用者も増えることでしょう。月・火の休みは何とか改善してもらいたいです。　65歳　女性

◎　華やかなイベントによる形ではなく、地味でもより実効性のある地域活性化策を求めます。今のようなやり方は誰でもできること。　75歳　女性

◎　表彰された３人の議員さんおめでとうございます。
62歳　女性

◎　いつもいなべ市議会だよりをいつもたのしみにしています。　60歳　女性

◎　今回特に見やすくなったと感じました。　70歳　男性

◎　クイズ続けてほしい。　70歳　女性

◎　いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで、分かりやすく読みやすいです。特に今号は、一般質問を１人１ページになっており、とても読みやすかったです。過去に行われた一般質問が市政にどう活かされたかが知らされる、「過去の質問どうなった？」を毎号掲載していただくとうれしいです。視察研修報告はわかりやすいです。ぜひ、市政にいかしていただきたいです。　81歳　女性
（同趣旨のご意見が他３人からありました）

◎　毎回楽しみにしています。いろんな事が分かりやすいので。　76歳　女性

◎　いなべの事がよく分かり毎回楽しみにしています。
78歳　男性

◎　皆さんいなべ市のために頑張っていてくださるのでいつも楽しみに読ませてもらっています。　52歳　男性

◎　議員の方の思いがそれぞれよく分かり、自分自身考える機会が持てます。　70歳　女性

◎　平成27年度の政務活動費の件ですが各会派の返納額が多くあり、それであれば政務活動費を月２万円にしたらどうか？　74歳　男性

◎　いなべ市議会だよりが10年以上継続している事に喜びを感じました。市議の皆さまのご活躍を日々感謝致しております。今後とも、住みよいまちづくりを目指しご活躍ください。
65歳　女性

◎　「一般質問」では多岐にわたる項目について議論されているのですね。いなべ市がより良くなるよう願います。
55歳　女性

◎　創刊50号おめでとうございます。　75歳　女性

◎　住み良いいなべ市になるように議員さんたちよろしくお願い致します。　75歳　女性

◎　質疑Ｑ＆Ａが読みやすい（特にマイナンバー制度が理解しやすい）　69歳　男性

◎　いつも全部拝読しております。次号が楽しみです。
89歳　女性

◎　議会事務局職員及び議会議員の方々ご苦労さまです。
76歳　男性

◎　いつもお世話になっております。これからもよりよいいなべ市でありますよう議員の皆さまの活動を期待しております。　76歳　男性

◎　頑張ってください。　73歳　男性

◎　委員の方の視察研修はすごく良いことだと思いました。今号は視察の良い所を取り入れ見やすく思いました。今後もいろんな所へ視察していただき良い所はすぐに取り入れたほうが市民の方が喜ぶと思います。運動会の組み体操がないのは、びっくりしました。刈り草を利用して肥料にするには良いとおもいます。草の受け入れは所々に設置していただきたい。皆さん暑いので熱中症には気をつけてください。　62歳　男性

◎　今年は支援センター、グループホーム、小学校など新築工事が多いですね。私は温泉好きなので、もう少し大きな温泉がいなべにできてほしいです。　48歳　女性

◎　下水道工事を20年ぐらい、まだしていない隣りに迷惑しています。下水道課に言ってもなかなか工事をしてくれないです。どうにかしてください。　53歳　男性

◎　小さい子どもがいるため、夜間の病院の診察がいなべ市にはないのが非常に不安である。　５歳の保護者

◎　猿が畑を荒らして困っています。なんとかして。
62歳　男性

◎　マイナンバーカード交付申込どうしようかな？市全体に対し（77％）との事、まだこのままでいいのかな？申請した方が良いのでしょうね。　70歳　女性

◎　お願い、市道、県道の白線のペンキがはがれている所が多く見られるのでよろしく。　76歳　男性

クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は　問１　第⑤⓪号
　　　　問２　平成①⑥年
　　　　問３　奥州市議会

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

麓　村	出口　清　様	東禅寺	葛山　勲　様
石　川	鈴木　静代　様	大　門	小林みねこ　様
丹生川中	樋口　節子　様	川　合	佐藤代史子　様
みその団地	亀川よ志子　様	石榑北山	伊藤みよ子　様
市　場	二之湯　明　様	楚　里	伊藤　英子　様
市　場	二之湯人美　様	東村西	西脇　丈良　様
南金井	利光　良雄　様	丹生川上北	梅山　利光　様
新　貝	井後　勝広　様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

12月定例議会（予定）

◆開会日…………………………１１月２９日(火)
　一般質問……………………１２月　６日(火)
　　　　　　　　　　　　　　１２月　７日(水)
　総括質疑……………………１２月１３日(火)
　総務常任委員会……………１２月１４日(水)
　教育民生常任委員会………１２月１５日(木)
　産業建設常任委員会………１２月１６日(金)
◆閉会日…………………………１２月２０日(火)

市議会では本会議の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。
（受付場所：いなべ市役所大安庁舎　２階ロビー）

市議会のホームページから本会議の生中継をご覧いただくことができます。
また、議事録も公開しています。

編集後記

９月定例議会は、「昨年度の決算を審議する」ということが大きな役目になっています。平成２７年度決算の審査が本会議、各常任委員会で行われました。各常任委員会、討論、総括質疑のページからいなべ市の行財政の内容を知っていただけたらと思います。

前回の創刊50号記念を境に、各議員による「一般質問」のページを半ページから１ページに充実させました。内容もわかりやすくできたのではないでしょうか。

広報編集委員の任期は１年なので、このメンバーによる「議会だより」をお届けするのは最後になります。研修の成果を少しでも反映させたいと取り組んできました。市民の皆さまにもクイズを通して多数参加いただきありがとうございました。これからも議会ともども「議会だより」も注目していただきますようお願いします。

議会基本条例（素案）に対するパブリックコメントを実施します。

議会基本条例について、市民の皆さんから広くご意見をいただくため、12月下旬から約１カ月間、パブリックコメントを実施する予定です。
詳細については、議会事務局までお問い合わせください。（電話 78-3515）

訪問レポート　西藤原小学校

絆と共に「至誠」を育む「楽林（学び舎）」の教育

学校・PTA・自治会・鳴谷会とともに子どもを育て地域の絆を深めています。

春【親子遠足登山】ＰＴＡや地域の方と一緒に、藤原岳へ親子遠足登山をしました。山頂での清掃活動をしました。

夏【親子行事】（川遊び・いもち送り）保護者だけでなく地域の方にも協力していただき、楽しい一日になりました。

秋【西藤原小・鳴谷運動会　稲刈り・餅つき】子どもたちの頑張りと地域の方々との協力のもと、楽しい交流ができました。

冬【学習発表会】学習してきたことを基に劇や歌などを考え、PTAや地域のみなさんに紹介し、楽しい一日を過ごしました。

思い出をありがとう　【地域で築いた141年の歴史】　最後の思い出づくり

いなべ市議会　議会事務局
〒511-0292 三重県いなべ市大安町大井田2705番地
TEL(0594)78-3515／FAX(0594)78-3516